

みずほCustomer Desk Report 2019/06/18号(As of 2019/06/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.66
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.57	1.1216	121.76	1.2595	0.6878
SYD-NY High	108.73	1.1247	122.13	1.2606	0.6884
SYD-NY Low	108.46	1.1204	121.66	1.2532	0.6849
NY 5:00 PM	108.52	1.1218	121.74	1.2533	0.6853
NY DOW	26,112.53	22.92	日本2年債	-0.2000	0.00bp
NASDAQ	7,845.02	48.37	日本10年債	-0.1300	0.00bp
S&P	2,889.67	2.69	米国2年債	1.8687	2.51bp
日経平均	21,124.00	7.11	米国5年債	1.8515	1.64bp
TOPIX	1,539.74	▲ 6.97	米国10年債	2.0899	0.69bp
ソコ日経先物	21,095	80	独10年債	-0.2460	1.10bp
ロンドンFT	7,357.31	11.53	英10年債	0.8480	0.20bp
DAX	12,085.82	▲ 10.58	豪10年債	1.4040	3.20bp
ハンセン指数	27,227.16	108.81	USDJPY 1M Vol	6.08	▲0.21%
上海総合	2,887.62	5.65	USDJPY 3M Vol	6.30	▲0.11%
NY金	1,342.90	▲ 1.60	USDJPY 6M Vol	6.65	▲0.18%
WTI	51.93	▲ 0.58	USDJPY 1M 25RR	-1.33	Yen Call Over
CRB指数	174.42	▲ 0.39	EURJPY 3M Vol	6.45	▲0.15%
ドルインデックス	97.53	▲ 0.04	EURJPY 6M Vol	6.94	▲0.11%

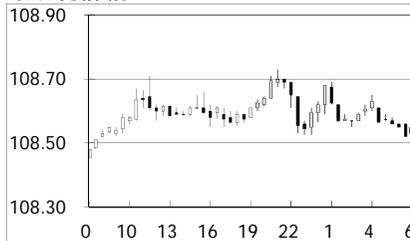
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月17日	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	6月 -8.6	11.0

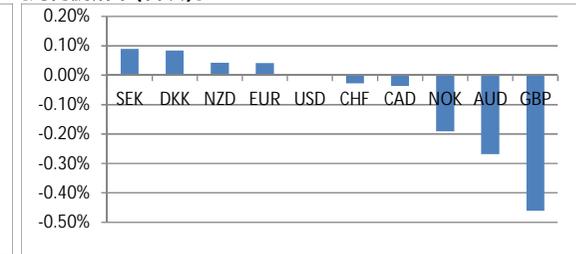
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月18日	10:30	豪 住宅価格指数(前期比/前年比)	1Q -2.6%/-6.9%	-2.4%/-5.1%
	17:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	18:00	欧 コアCPI・確報	5月 0.8%	0.8%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 0.2%/1.2%	0.7%/-
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	6月 6.1/-5.6	8.2/-2.1
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	5月 1240k/1293k	1235k/1290k
	23:00	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.10-108.90	1.1180-1.1280	121.20-122.20

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は値幅27銭と狭いレンジでの推移。先週末のドル買い地合いが継続する中で、海外時間の序盤に1週間ぶりの高値となる108.73を付ける場面も見られたが、本日から明日にかけて行われるFOMCを前に、市場の様子見ムードは強く、108円台半ばまでのこう着感の強い推移となった。本日は相場を動かしがせるイベントに乏しく、またFOMCの結果発表を19日に控えていることもあり、昨日同様ドル円はこう着感の強い相場になる蓋然性が大きいだろう。とはいえ短期的なベクトルでいうと、昨日は株も比較的しっかりとした推移、米金利は上昇、ドル円は1週間ぶりの高値を更新している状況。トレンドの転換しうる材料に乏しいことを勘案すると、ドル円はこう着感が強いながらも、底堅い推移になるのではないかと。

東京	東京時間のドル円は108.57レベルでオープン。特段材料のない中、先週末の海外時間の流れを引き継ぎドル買い優勢。一時約一週間ぶりの高値となる108.71まで上昇したものの、買いは続かず東京オープンの水準まで売り戻される。午後は108.60を挟んで方向感に乏しい展開となり108.58レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.58レベルでオープン。米金利の上昇を受けて108.55から108.73まで上昇する場面もあったがFOMCを週半ばに控え方向感に乏しく、108.69レベルでNYに渡った。ロンドンでは、1.2585レベルでオープン。特段目新しい材料が見られない中、保守党党首選の議員投票を控え1.2573から1.2599の狭いレンジで推移。1.2587レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY市場のドル円は108.69レベルでオープン。朝方は米6月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を大幅に下回ったことからドル売りが強まり、一時108.53まで下落。売り一巡後、米金利が下げ止まり、ダウ平均がナスダックに回復したことからドル買いが進み108.69まで上昇するが、19日にFOMCを控え様子見ムードが強い中、上値追いは限定的された。その後は方向感無しの推移が続き、値動きが17銭に留まる中、108.52レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、ケレECB理事が英紙イタビューで「世界経済に関する暗い兆候があり、世界各國の協力の崩壊が次の危機に立ち向かう能力を阻害している。必要であればECBは景気を支えるために行動する用意がある」との発言が伝わる中、1.12台前半で上値重く推移。一時1.1204まで下落する場面もあったが、1.1230レベルでNYオープン。朝方はドル売りが優勢の展開となり、予想以上に弱かった米経済指標結果が伝わるとドル売りが加速し、一時1.1247まで上昇。しかし米金利の下げ止まりを背景にドルの買い戻されたことと、ユーロ円の下落に圧迫され、1.1220近辺までじりじりと値を戻す。今週のFOMCに加え、明日にドラギECB総裁の講演を控える中、終盤は様子見ムードが強まり、方向感無しの推移し、結局1.1218レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・玉井